



JIS マーク表示制度認証授与式（5月14日）

第8回 JIS 製品認証業務判定委員会（4月25日）にてブリヂストンフローテック(株) MD センター、日本プラスチック工業(株)及び積水化学工業(株)の初回審査適合性に関する判定について、それぞれ適合となり、このうちブリヂストンフローテック(株)MD センターに対する JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第3回水道用塗料等に関する衛生性調査専門委員会（5月15日）

日本水道協会規格である水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料（JWWA K 139）及び水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 157）の衛生性に関する改訂作業を進め、最終案がまとまった。

水道 GLP 認定証授与式（5月16日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定したさいたま市水道局給水部水質検査課の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



第21回 IWA 日本国内委員会（5月16日）

2012年 IWA 世界水会議の誘致進捗状況について審議を行った。日本での世界水会議開催の意義・メリットのアピールを増強して、誘致活動を推し進めて行くことが承認された。



全国水道企業団協議会第51回総会（5月17日～18日）

倉敷市の芸文館において、51回目となる総会が開催された。

第1日目：開会式では、開催地代表として古市備南水道企業団企業長（倉敷市長）、全国水道企業団協議会を代表して三浦会長（佐久水道企業団企業長：佐久市長）の挨拶の後、来賓より祝辞があった。

次に、表彰式では、全国水道企業団協議会会長表彰として29名の受賞者に対し表彰状と記念品が贈られた。

続いて会議に入り、「会務報告」の承認を得たのち、「平成18年度歳入歳出決算」、「平成19年度歳入歳出予算（案）」の各議案について審議の結果、原案のとおり決定した。

その後、会員提出問題討議に入り、問題1「水道事業に対する財政支援の拡充及び補助要件の緩和について」、問題2「水道施設の再構築事業に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題3「水道施設の震災対策事業等に対する行財政支援について」、問題4「水道施設の更新・改良に係る財政融資資金等の償還方式について」、問題5「公的資金の繰上償還（補償金なし）の条件緩和について」、問題6「市町村合併に伴う水道施設の撤去費用を起債対象とすることについて」が一括上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した後、関係省より意見発表があった。

次に、次期総会開催地については、九州地区協議会の福岡地区水道企業団を開催地とすることが決定した。

第2日目：岡山県南部水道企業団の水道施設等を視察した。



平成19年度水道基礎講座

（第1回：5月16日～18日、第2回：5月30日～6月1日）

水道事業及び賛助会員の新規採用者及びこれに準ずる方々180名（第1回：93名、第2回：96名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。



第16回検査施行要項等専門委員会（5月17・18日）

第1日目は、朝日鑄工(株)を視察し、検査制度の効率化に当たって現行検査制度を把握するための検査方法の確認並びに効率化した場合の検査方法の説明等を行った。

第2日目は、はじめに委員長の互選を行い、大阪市水道局の河本真治工務部配水担当課長を満場一致で選出した。

続いて、以下の議題について慎重審議を行い、①～③については、次回検査事業委員会に諮ることとなった。

また、②及び③については、更に引き続き検討をしていくこととなった。

- ① 日本水道協会水道用サドル付分水栓検査施行要項の改正について
- ② 日本水道協会水道用ポリウレタン被覆方法検査施行要項の改正について
- ③ 日本水道協会水道用ポリエチレン被覆方法検査施行要項の改正について
- ④ 検査証明書に関する制度の改正について
- ⑤ 検査制度の効率化に関する検討について

第1回日本の水道生物調査専門委員会（5月18日）

「日本の水道生物（写真と解説）」の改訂に向けて、委員長に北澤（東京都）委員、副委員長に服部（大阪府）委員が選出された。また、改訂作業について、作業部会（作業部会長：田中（川崎市）委員）を設置し、年内の発行を目途に作業を行うこととした。

第35回 ISO 審査登録センター・判定委員会（5月29日）

前回議事録の確認後、議題(1)ガルバテックス(株)・サーベイランス、議題(2)マックピーアンドエス プレファブ事業部・サーベイランス及び臨時サーベイランス（登録の拡大）、議題(3)小林製作所・サーベイランスに対する判定について審議し、3組織の品質マネジメントシステムが JIS Q9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合と判定した。

第854回会誌編集委員会（5月29日）

本誌6月号、7月号の編集方針、投稿原稿の審査及び新規原稿の取扱いについて審議したのち、有効賞の選考について事務局より説明した。

第127回水道事業管理者協議会（5月30日）

はじめに、座長・副座長の選任を行い、座長に松山市の渡邊公営企業管理者、副座長に旭川市の山本水道事業管理者が選出された。

続いて、厚生労働省健康局 山村水道課長より「水道事業における現状と課題」、東京都水道局総務部施設計画課 青木特命担当課長より「東京水道長期構想（STEPⅡ）及び水安全計画について」の講演が行われた。

その後、情報交換事項として、①市町村合併に伴う事業統合と料金格差是正のための財政措置について、②資金運用についての意見交換が行われた。



第168回常任理事会（5月31日）

赤川専務理事が議長となり、はじめに報告事項1「第49回水道週間及び第29回水道週間中央行事の実施について」、報告事項2「能登半島地震に係る対応等について」、報告事項3「水道事業ガイドライン推進室の開設について」、報告事項4「水道機械電気技術者のための実務マニュアル・ノウハウ集2007の発刊について」がそれぞれ事務局より報告された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成20年度水道関係予算の要望について」、第2号議案「第59回全国水道研究発表会の開催地及び開催期日について」の2件について事務局から諮り、慎重審議の結果、原案のとおり決定した。

なお、第2号議案により、平成20年度の全国水道研究発表会は平成20年5月に仙台市において開催されることが決定した。

会議終了後には、第1号議案の議決に基づき、常任理事全員により厚生労働省、総務省に対して強力な陳情を行った。



（厚生労働省受託）第6回水安全計画策定ガイドライン作成調査専門委員会（6月7日）

水安全計画策定ガイドライン第二次原案についての審議を行った。水安全計画の作成の流れに沿った個々の解説や具体例の記載、更にはシステム化や用語の定義など、実際の策定作業をしやすくするための工夫が盛り込まれたものになっている。作成のための簡易な支援ソフトも紹介された。

第49回水道週間（6月1日～7日）

今年で49回目を迎えた水道週間が6月1日から7日まで全国各地で実施され、水の最需要期を控えて「水の大切さ」を広く周知するため多彩な催しが行われた。

今年の水道週間中央行事は、6月3日（日）、佐世保市の「アルカス SASEBO」を会場に厚生労働省、佐世保市、水道週間中央行事実行委員会の主催により、第29回水道週間中央行事「水感謝祭 in させぼ」として開催され、約2,000人の市民で賑わった。

アルカス SASEBO（大ホール）では「五蔵太鼓社中」の太鼓の演奏と「佐世保よかよかかっちえる隊」のダンスが演じられた後に、朝長佐世保市長、山村厚生労働省水道課長、赤川水道週間中央行事実行委員会委員長が出席し、記念式典が行われた。



開催地挨拶：朝長佐世保市長



主催者挨拶：山村厚生労働省水道課長

式典の後の記念講演では、落語家の桂三枝氏が「三枝という生き方」と題し講演を行い、会場を沸かせた。またイベントホールでは専門家を招き、水道水によるおいしい紅茶の入れ方などが実演された。



記念講演：桂三枝師匠



オープニングセレモニーの様子

会場周辺ではペットボトルと水を使ったおもちゃの展示や水道パネル展やクイズラリーなどの多彩なイベントが行われ、会場を訪れた市民が楽しみながら「水の大切さ」や「水への親しみ」を深める行事となった。

平成19年度第2回水道週間中央行事実行委員会（6月3日）

6月3日（日）に開催された第29回水道週間中央行事「記念式典」の運営について、開催地である佐世保市より説明が行われた。

第610回抄録委員会（6月7日）

本誌9、10月号に掲載する外国文献の抄録内容及び8月号に掲載する海外文献目録の和文題名等について審議した。

第143回水質試験方法等調査専門委員会（6月14日）

「上水試験方法2001」の改訂に向けての方針として、測定機器等による分冊化が示され、各部会に分かれて、2年後の発行を目途に今後の進め方・分担などについて検討した。

水道法50周年記念シンポジウム（6月15日）

6月15日、全国都市会館（東京都千代田区）において、水道法が昭和32年に公布、施行され今年で50周年を迎えることを記念して、水道法50周年記念実行委員会（委員長：眞柄泰基北海道大学大学院特任教授）主催のもと、『水道のあゆみとこれから』と題した記念シンポジウムが開催された。当日は、300名を超える参加者のもと、各年代のエポックメイキングな話を、関係者のリレートークで綴る記念講演『水道法のあゆみ』、次に、『水道のこれから』と題したパネルディスカッションが盛大に開催された。



眞柄実行委員長の挨拶



パネルディスカッションの様子